

就任式・始業式・入学式

4月9日(月)平成30年度の就任式・始業式・就任式が行われました。

就任式では、私を含めて44名!!の教職員が新任職員として紹介されました。本校職員数は120名を超えます。改めて、この学校規模と本校が本県の産業振興の大きな重責を担っていることについて、考えさせられるとともに身が引き締まる思いがしました。

そして、始業式では、本校の校訓「自主独立」「団結融和」「実践躬行」を引用し、114年の伝統と誇りを胸に常に努力を怠らず、希望に向かって進むことが新たな伝統を作り上げていくことに繋がることを話しました。



午後は、県立学校教育課指導主事、大山正吾様をはじめ、所用により出席が叶わなかったPTA会長様に代わり副会長の新垣賢様、そして翔洋同窓会長の末吉真敏様のご臨席のもと入学式が執り行われました。

不安と期待が入り交じるなかで、本科生232名、専攻科31名の新入生が目を輝かせて入学式に臨んでいました。式辞では「これから始まる貴重な3年間を常に感謝の心を忘れることなく、有意義に過ごして欲しいこと、色々なことにチャレンジして、高校生活を存分に楽しみ、学問と部活動に燃えて下さい」と私の思いを述べました。

新入生代表の本科生代表、山田州流君の挨拶は「・・・今日から始まる新しい生活に仲間達と切磋琢磨すること、親元を離れて初めて寮生活をするようになるが不安はあるが自立出来るように頑張りたい。そして、勉強と野球に打ち込み甲子園出場を果たしたい」と力強く語ってくれました。

専攻科代表の下地祐太郎君は「県内唯一の無線従事者専門育成機関である専攻科に入学し、さらに上級の資格を目指したい、人間の生活を陰で支えている通信を学び、将来は航空管制運行情報官になるのが夢である」と、落ち着きと深みのあるスピーチでした。大きな拍手が聞く者の感動を表し、厳粛で感動的な入学式になったのは言うまでもありません。

さて、実は、不肖私、8年前に教頭、5年前に副校長として本校にお世話になりました。今回校長としての赴任に際し、伝統と関係各位の期待の重さをひしひしと感じております。これも何かの縁、出会うもの全てに「袖触れ合うをも生かす」の気概で邁進する所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。